

テーマ「世界」

どんなまるがすき？



これはまる

中川 ひろたか//ぶん
tupera tupera//え
ポプラ社
(あかちゃん絵本/057)

日常生活でたくさん目にする「まる」のかたち。ボールや石ころなど、身近にある「まる」を自由自在に組み合わせてみると、一体何ができるかな？お子さんの想像力が育める絵本です。おうちにある「まる」で、ぜひ遊んでみてください。

さあさあ、みんなでなにをする？



みんなでね

まつい のりこ//作・絵
偕成社
(あかちゃん絵本/057)

おともだちと楽しくご飯を食べたり、一緒にお風呂に入ったり……。私たち大人にとってはありふれた日常でも、あかちゃん目線から見るとキラキラした世界に見えているかもしれません。読み聞かせはもちろん、公園や保育園などでのおともだちとの集団生活を知るきっかけにもなります。さあ、今度はみんなで行きませんか？

美しく豊かな山の秘密



ナナカラやまものがたり 3 コジュケイふうふのちいさないえ

どい かや//作
あすなろ書房
(やさしいよみもの/069)

「ナナカラやま」という不思議な名前の山に小さな家がありました。そこには、コジュケイという鳥のおじいさんとおばあさんが仲良く暮らしていました。山の祭りの夜、おじいさんは「ナナカラやま」の名前の秘密を山の仲間たちに話します。さて、その秘密とは……。小さな生き物たちの世界の心温まるお話です。

不思議な世界の入口



マンホールから こんにちは

いとう ひろし//さく
徳間書店
(やさしいよみもの/069)

マンホールの下を流れる下水がどこか知らない世界へとつながっていて、そこから不思議な生き物たちが突然現れるという奇想天外なお話です。このお話は、逃げたベツが下水の中で大きくなっているという事実から創作のヒントを得て作られています。いつもの風景の中に隠れている、不思議な出会いをお楽しみください。

世界はつながっている

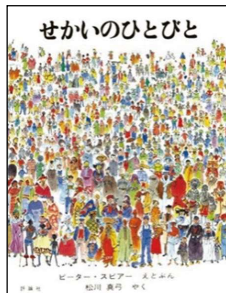


地球をほる

川端 誠//作
BL出版
(国内絵本/062)

庭の地面を掘って地球の裏側へ旅行に行くことにした、つよしとけんた。調べてみると、真っ直ぐには地球を掘れないことがわかりました。家族が見守る中、準備万端。スコップで土を掘っていきます。子どもが考える想像力には大人も驚きの連続です。少しずつ本を回転させながら読み進め、辿り着いた場所とは一体どこだったのでしょうか。

世界にはいろいろな人がいるよ



せかいのひとびと

ピーター・スピアー//えとぶん
松川 真弓//やく
評論社
(海外絵本/063)

世界には多くの国があり、そこで暮らしている人々がいます。顔、ファッション、家、言葉、食べ物など、みんなそれぞれに違いがあるけれど、どれも素晴らしいし、どれもおかしくはありません。ひとりひとりの個性を尊重することは、とても大切なことだと教えてくれます。子どもも大人も多様性を知ることができる絵本です。

世界をつくった2人のお話



日本の神話 古事記えほん 1 国生みのはなし イザナキとイザナミ

三浦 佑之//監修
荻原 規子//文
斎藤 隆夫//絵
小学館
(国内のむかしばなし絵本/060)

高天原の神様は、イザナキという男の神様とイザナミという女の神様に世界をつくるように言いました。さて、2人はどのようにして世界をつくったのでしょうか。世界の始まりをわかりやすく知ることができる絵本です。日本の神話を絵本で読んでみてはいかがでしょうか。

火をぬすみだせ！

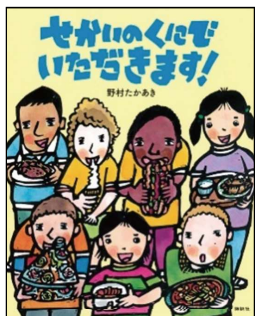


天の火をぬすんだ ウサギ

ジョアンナ・トゥロートン//さく
山口 文生//やく
評論社
(海外のむかしばなし絵本/061)

地上は昔、火が無くとても寒い場所でした。あまりの寒さに耐えきれなくなった動物たちは、天の人が持つという火を盗むことにしました。まずはウサギが天の人が住む山へ行き、他の動物たちと協力して火を地上に運んできますが……。北米インディアンに伝わる、火の起源とされるお話です。

だんだんお腹が空いてくる！



せかいのくにで いただきます！

野村 たかあき//作・絵
講談社
(知識絵本/009)

世界の人々は、一体どんな物を食べているのでしょうか。朝ごはんやおやつ、屋台で気軽に買って食べる物やお正月に食べる特別な物まで……。世界14か国の美味しそうな食べ物とともに、その国の言葉で「美味しい」をなんと知ることができます。絵本を読み終えたら、食べたい料理を紹介し合ってみましょう。

夏の音が聞こえてくるよ



なつのおとみつけた

みやじま みほこ//さく・え
たに いくお//ぶん
みらいパブリッシング
(テーマ別絵本/016)

「ミーンミーンミーン」「パラパラパラ」。主人公の女の子が経験するありふれた日常が、「夏の音」と繊細な絵で描かれています。風鈴やスイカ割りなど、日本ならではの夏の風景も一緒に楽しめる絵本です。あなたの周りにはどんな「夏の音」があるのでしょうか。耳を澄まして聞いてみてください。



ブックスタートが始まりました！

ブックスタートとは、3～4か月児健診の機会に、絵本を開く楽しい「体験」と「絵本」をセットでプレゼントする活動です。抱っここのぬくもりの中で絵本を読んでもらう心地よさや嬉しさを「すべての赤ちゃん」にお届けします。多賀城市では令和4年度からスタートしました。

絵本は赤ちゃんや保護者の方が好きなきに開いて、親子のふれあいや絵本を通じてのコミュニケーションを楽しんでいただきたいと思います。

※多賀城市のブックスタート事業には、東北電機製造株式会社様のご協力をいただいております。



『うさちゃんマーク』の本について

キッズライブラリーには、赤ちゃんや小さいお子様に おすすめの絵本があります。絵本には2種類の“うさちゃんマーク”がついています。ぜひ、お子様とご一緒にお読みください。



あかちゃんと一緒に はじめて読む絵本



たくさんのお子さんに愛され、読みつがれた33冊の絵本